



私たちの命を守る “地域専用のルール”を 作りませんか？



1 なぜ今、地区防災計画が必要か？

大規模災害が起きたとき、行政（公助）だけでは
すべての人を助けることはできません。

阪神・淡路大震災では…



救助された人の
約8割が
家族や隣人などの
「共助」でした。

（出典：消防庁「防災白書」）



「いざ」という時に頼りになるのは、
普段から顔の見える地域のつながりです。

2 地区防災計画とは？

「自分たちの地域のことは、
自分たちが一番よく知っている」

その視点でつくる、地域オリジナルの防災計画です。



地域の特性や
危険な場所を
把握する



住民同士で話し合い、
「誰が・何を・どのように」
行うかを決める



地域の行動計画として
まとめ、みんなで
共有・実践する

地域の実情に合った計画だから、いざという時に役立ちます。

3 取り組むメリット



地域の絆が深まる

話し合いや訓練を通じて、
顔の見える関係が生まれ、
助け合える地域になります。



「誰が・何をすべきか」が明確に

災害時に混乱を防ぎ、
落ち着いて行動できます。
命を守る行動につながります。



市の計画に自分たちの考えを
反映できる

地域の声を市の防災計画に
反映することができ、
より実効性の高い防災対策へ。

4 成功事例の紹介



能登半島地震で、
訓練通りの避難により
全員助かった地区がありました！

石川県のある地区では、事前に地区防災計画を
作り、日頃から避難訓練を実施していました。
地震発生時には、計画に基づいて落ち着いて
避難行動をとり、地区住民全員が無事でした。

「備え」と「つながり」が、命を守ります。

5 まずはここから！

特別な準備は不要です。できることから始めましょう！

防災まち歩きから



地域の危険な場所や
避難経路、役立つ場所を
みんなで確認！

お茶を飲みながらの
話し合いから



気軽に集まって、
「こんな時どうする？」を
話すことが第一歩！

小さな一歩が、いざという時の大きな力になります。



地域の未来と
大切な人の命を守るために
一緒に取り組みましょう！

ご相談・お問い合わせはお気軽に！

西東京市 総務部 危機管理課

☎ 042-438-4010（直通）

✉ kikikanri@city.nishitokyo.lg.jp

職員が
サポートします！

※地区防災計画の作成には、自治会・町内会をはじめとする地域の皆さまのご協力が必要です。まずはご相談ください。